

## さくらUTOPIAゲートウェイ 債権管理 公共料金引落としと各部予算の紐付けにより 予算管理を効率化した事例

**サービス** さくらUTOPIAゲートウェイ 債権管理（引落用仮想口座利用）

**顧客概要** 学校D校さま

**導入目的** 業務負担の軽減と正確性の向上



### 導入背景

公共料金については、各部署で口座振替通知をもとに財務会計システムに入力を行い、支払決定を行っていた。この処理を失念すると財務部はどの部署の支払いが引落しになったか分からず、相当の時間を要していた。  
D校はこの不要な時間の削減とリスク回避、また入力業務軽減を目的に引落用仮想口座とさくらUTOPIAゲートウェイ 債権管理を導入。

### 案件概要

引落用仮想口座の機能を使い、さくらUTOPIAゲートウェイ 債権管理で各部署が申請した予算と実際の公共料金引落を100%紐付けるとともに、費用按分や財務会計データ作成にも対応し、予算管理を効率化。

## 導入効果

不明な振替支払いが発生せず、また、予算との紐付けも容易になり、費用按分や財務会計へも連動でき、効率化が図れた。  
今後、請求金の消込業務にもさくらUTOPIAゲートウェイ 債権管理を利用したい。

### 概要図

